

会 議 録

会議の名称	第1回 長瀬町学校のあり方検討委員会
開催日時	令和2年7月27日(月)午後1時30分～午後3時15分
開催場所	長瀬町役場 3階 大会議室
出席者	委員 14名 事務局 4名
欠席者	委員 2名
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱書の交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長の互選 (2) 委員長あいさつ (3) 副委員長の互選 (4) 副委員長あいさつ (5) 長瀬町学校のあり方検討委員会の役割等について (6) 長瀬町立学校の現状等について (7) 今後の検討委員会の日程と進め方について (8) その他 6 事務連絡 7 閉会
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	1名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回学校のあり方検討委員会次第 ・ 資料1 長瀬町学校のあり方検討委員会委員名簿 ・ 資料2 長瀬町学校のあり方検討委員会設置条例 ・ 資料3 長瀬町学校のあり方検討委員会の役割等について

	・資料4 長瀬町立学校の現状について
事務局	教育総務担当
会議録の作成 方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会 (司会 事務局)

2 委嘱書の交付

3 あいさつ

野口教育長

4 自己紹介

委員自己紹介

事務局自己紹介

5 議事

(1) 委員長の互選

それでは、次第の5の議事に入りたいと思います。

本日、お配りしております資料2長瀬町学校のあり方検討委員会設置条例をご覧ください。

第5条第2項で、委員長と副委員長は委員の互選により定めることになっていますので、まずは委員長を決めたいと思います。

何かご意見がある方はいらっしゃいますか。

ただいま、浅見委員から平沼委員の推薦がありました。

他の委員の方はいかがでしょうか。

他に意見がないようでしたら、平沼委員を委員長に選出したいと思いますが、よろしいでしょうか。同意される方の拍手を求めます。

ありがとうございました。

平沼委員は前の委員長席に移動をお願いします。

(2) 委員長あいさつ

それでは、平沼委員長から挨拶を頂戴したいと思います。

《あいさつ》平沼委員長

ありがとうございました。

それでは、ここからの議事の進行につきましては、平沼委員長をお願いをいたします。

(3) 副委員長の互選

委員長) それでは、ここからは私の方で議事を進めたいと思います。

よろしく願いいたします。

議題の(2) 副委員長の互選について検討したいと思います。

何かご意見がある方はいらっしゃいますか。

ただいま、富田委員から乙益委員の推薦がありました。

他の委員の方はいかがでしょうか。

他に意見がないようでしたら、乙益委員を副委員長に選出したいと思いますが、よろしいでしょうか。同意される方の拍手を求めます。

ありがとうございました。

乙益委員は副委員長席に移動をお願いします。

(4) 副委員長あいさつ

それでは、乙益副委員長から挨拶を頂戴したいと思います。

《あいさつ》 乙益副委員長

ありがとうございました。

(5) 長瀬町学校のあり方検討委員会の役割等について

委員長) 続きまして、議事の(3) 長瀬町学校のあり方検討委員会の役割等についてに入ります。

こちらにつきまして、事務局から説明をお願いします。

事務局説明

ただいま、事務局から説明がありましたが、何か意見や質問がある方はいらっしゃいますか。

特になし

(意見や質問が終了後)

それでは、議事(3) は終了とします。

(6) 長瀬町公立学校の現状について

事務局説明

○長瀬町公立学校の現状について、統計的数値と法令上の規定（資料4参照）

・小中学校における、児童生徒数と今後の推移（令和2年5月1日現在）

※平成元年度～令和2年度、32年間の推移

第一小学校 平成元年度 472名→令和2年度 225名（42%減）
令和7年度 171名（平成元年比 64%減）

第二小学校 平成元年度 216名→令和2年度 57名（74%減）
令和7年度 47名（平成元年度比78%減、元年度の1/5）

長瀬中学校 平成元年度 414名→144名（65%減）
今後5年間、ほぼ横ばい（第一小児童数の変化がないため）

○学校規模の法令上の規定について

学校教育法施行規則

第41条 小学校の学級数は、12以上18学級以下を標準

第42条 分校は特別の事情がある場合を除き、5学級以下

第79条 中学校も、それに準用し同数とする

※長瀬町でこの標準に該当する学校はない。

○学級編成の標準と基準について

小学校 同学年で編成の場合 1学級40名（41名で2クラス）

1年生は1学級35人まで（36人で2クラス）

複式学級の場合 1学級16名

○小学校における学級数と児童数の変化と推移（特別学級を含む）

令和3年度 第二小学校 2年生9名、3年生7名（複式学級の対象）

令和5年、6年度 2つの複式学級ができ、全校で4学級編成となる予定

～以下省略、意見交換～

委員) 2つの小学校を一つに、小・中をまとめる方法等あると思うが、問題も

多数あると思うので、この会でどの程度まで考えていくのか目標を示して欲しい。

事務局) 方法としては、大きく①現状維持、②小学校統合、③小中一貫の3つがあると思うが、いずれにしても検討する時期にきている。今年度、来年度の2年間で方向性を出していきたい。

会議としては、地域の声をどういう場面でどう吸い上げていったらいいかなどの意見をいただいて、なるべく多くの声を取り入れながら方向性を出したい。人口減少が思ったより大きく、令和3年度には小学校で複式学級という現実が迫っているため、地域の意見をしっかりと聞く場面を設けながら長瀬町としての学校のあり方を考えていきたい。

委員) スクールバスという形で秩父地域の多くの学校と関わってきたが、複式学級にするなら統合を希望する声が多かったように思う。横瀬町は環境が良くなったおかげで人口、子供たちの数が増えた。長瀬町もそういった面で努力をしていただけたら。また、今後は通学距離が遠い児童のために、スクールバスを導入する等工夫も必要なのでは。

委員) 子供たちの意見はどう吸い上げていくのか。町の財政面はどうなのか、ということも教えていただけたら。

副委員長) 昨年度の出生数11名。各小学校の児童数に関する不安から引っ越し等を考えないで済むよう、見通しを持って安心して過ごせるような状況を。

委員) 現実を目の当たりにして、この先自分の出身校がなくなることや町の活気がなくなるのではないかということに不安を感じる。第二小に転入したい子供がいたとしても新たに住む場所がないような気がするので、学区ではなく地域として広い目で考えられたら。

委員) 児童数が少ないことで、学校の役員を決めるのにも厳しい状況がある。

委員) 現在1年生9名、2年生7名、合計16名の児童が来年度複式学級になる可能性。転入生1名で複式にはならないが、今後は2つの複式学級ができるようになることが考えられる。一小と二小を統合しても、1学年2クラス維持は難しそうなのが現状。会議の中で、子供たちにどのような環境でどのようなことができるか、道標を作っていけたら。

委員) 最初に示された3つの形それぞれにメリットとデメリットがあり、保護者、地域の意見等を吸い上げる場面をつくりながら決めていく必要がある。

委員) いくつか聞いておきたい内容がある

- ・複式学級にする、統合するというのは、町で決定できることなのか
- ・スクールバスを出す際の経費について
- ・閉校になった場合の学校や体育館の活用は
- ・今後、地域の意見はどのように聞いて、現状はどの程度まで伝えてよいのか・・・文書等があってもよいのでは

事務局) 当初は地域で集まって意見交換する場面を考えていたが、コロナで状況が変化してしまった。アンケート等も行い、可能になったら設定をしていきたい。学校を維持する税金の問題があったり、学校がなくなることによる不安を感じる方もいると思うが、第一には子供たちがどのような環境で学べるのが一番よいのかを考えていきたい。統合の話となると、規模の大きい一小が残り二小がなくなってしまうのではないかと、というイメージが強いかもしれないが、そこだけが先走らないようにしてほしい。

委員) 町内の人口、児童の減少を見ると心が痛む。子供たちが豊かに学びあうにはどうしたらいいかを原点として、保護者の意見に耳を傾けながらあらゆる視点から考えていきたい。

委員) 中学一年生たちを見ていると、小学校が違っていてもあつという間に仲良くなれるように感じる。折込み等で、議会の意見をよく把握されている方もいて、参考になる。

委員) 二小の児童数が少ないので隣町に引っ越した、という話も耳にした。長瀬町に住みたくなる、引っ越したくなる施策を総合的に考えなければ、と思う。

委員) 最終的には統合、という選択にならざるを得ないかもしれないが、通学距離等も考慮し、スクールバスの運用も考えて欲しい。

委員) 来年度の入学予定生徒数は43名、2クラスの予定だが、私立に進学する生徒が出てくると1クラスの可能性も。学校の規模が小さくなるとそれだけ教員数が少なくなり、子供たちにとってどうなのか考えてしまう。

今後地域によってさまざまな意見が出てくるのが考えられ、それらが対立しないよう、落としどころを作りまとめていくことが必要。

(7) 今後の検討委員会の在り方と進め方について

事務局説明

- ・全6回、今後2か月に一回程度開催する予定

今後の進め方

- ・地域の意見はどのように取り入れていくか（地域で集まる機会などに）
- ・アンケートの対象はどうするのか
- ・検討に必要なデータ等があれば、掲示したい（人口の推移や必要経費等）

(8) その他
特になし

6 事務連絡

次回検討委員会は、9月末～10月初旬の平日同時刻に開催予定。
必要な資料等ある場合は、教育委員会に連絡をお願いしたい。

7 閉会
事務局